



クラブ会長の計画及び目標

2007～2008年度R I テーマ

「ロータリーは分かちあいの心」

私たち高崎シンフォニーロータリークラブは、1996年に誕生しました。今年で満11歳を迎えることになりました。そして今年度はクラブリーダーシッププラン（CLP）を採用した新体制でのクラブライフとなります。

2007～2008年度R I 会長ウィルフレッドJ. ウィルキンソン氏は、「ROTARY SHARES ロータリーは分かちあいの心」をテーマとしました。それとともに昨年度に引き続き強調事項「水保全・識字率向上・保健及び飢餓・ロータリーファミリー」を発表しました。

これを受け2007～2008年度R I 2840地区横山公一ガバナーは、今年度地区目標として以下の6つを掲げられました。

- 1、今年度R I のテーマ「ROTARY SHARES ロータリーは分かちあいの心」を制約しましょう。
- 2、ロータリーの理念「奉仕の理想」の鼓吹・育成に努め、会員および組織の質的向上を図りましょう。
- 3、会員・クラブ・地区・R I すべての段階におけるロータリー情報を共有しましょう。
- 4、魅力あるクラブ作りとクラブ組織強化を推進し、各クラブ会員純増1名を達成しましょう。
- 5、ロータリー財団への寄付目標一人100ドルを達成しましょう。
- 6、米山奨学会に協力し、寄付目標一人15,000円を達成しましょう。

これらを踏まえて本年度は「CLPの充実と実践」を指針として活動していきたいと思います。新たな常任委員会には次のことを分かちあっていただきたいと思います。

- 1、奉仕プロジェクト委員会は奉仕活動の中心となって、全会員と「奉仕の理想」を分かちあいましょう。
- 2、クラブ広報委員会はクラブ内外へ魅力あるロータリー活動を発信し、ロータリーへの理解を分かちあいましょう。
- 3、会員増強委員会は、クラブ基盤維持のため全会員による会員勧誘の指揮者となって活動して、新たな仲間ともロータリーを分かちあいましょう。
- 4、財団委員会はロータリー財団および米山奨学会への寄付についての意義を伝え、要請された目標達成を支援し、喜びを分かちあいましょう。
- 5、クラブ管理運営委員会はS A Aと共に楽しく意義のある例会運営でロータリーの楽しみを分かちあいましょう。

みなさんの御協力の下、本年度のR I テーマ・強調事項・地区目標と新たな体制であるCLPが相まって今年度の活動ができれば、よりよい一年となると信じて疑いません。みなさんロータリーと分かちあいましょう。そしてロータリーを分かちあいましょう。

高崎シンフォニーロータリークラブ

会長 長壁 敏雄